



「はたらき」を化学する

個人投資家向けセミナー

化学のちからで
化学の枠を越える。

三洋化成
代表取締役社長
樋口 章憲



見えないところで活躍する“三洋化成”



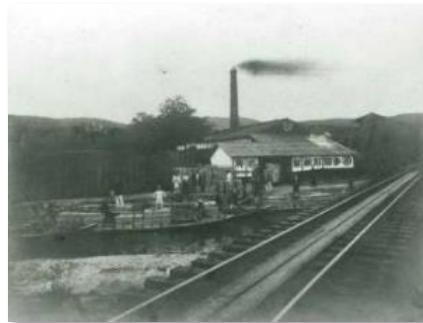
三洋化成は、暮らしの裏側で価値を生み出す化学メーカーです。弊社の製品は、洗剤や化粧品、自動車、医療など皆さんの身近なところで活躍しています。

1. 三洋化成の概要

三洋化成の起源



1907年 多田石鹼油脂製造所創立



京都にある広大な茶畠を切り拓き石鹼工場を建設
(現在の三洋化成京都工場辺り)

当時の国産石鹼は品質が悪く、舶来品並みの
高品質な石鹼をつくりたいという想い



石鹼製造技術 = 界面活性剤（有機）合成技術

石鹼事業から繊維処理剤等へと事業を展開し、研究開発・技術開発力に
優れた会社へ

**100年以上にわたり培ってきた研究開発力、
界面制御技術の深耕こそが、三洋化成の利益の源泉**

三洋化成の創立



1943年 三洋油脂（株）創立

***三井物産(75%),東洋レーヨン(25%)**出資



1949年 三洋油脂工業（株）創立

（1963年、三洋化成工業（株）へ社名変更）

会社設立時の株主総会（S24.11）

- ◇ 1978年東証1部、大証1部に上場
- ◇ 2022年東証プライム市場へ移行

**社会ニーズに化学（界面制御）技術で応えつづけ
現在では、3,000種類に及ぶ製品を製造販売**

-社是-

企業を通じてよりよい社会を建設しよう

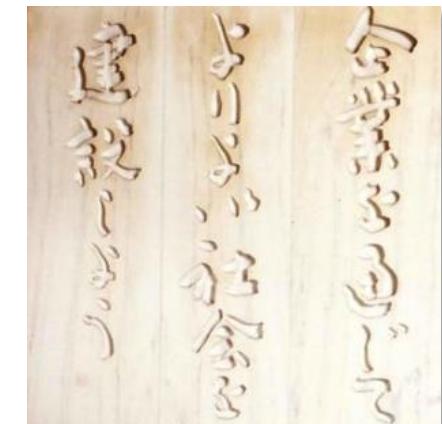
-目指す企業像-

グローバルに、ユニークな優良企業グループへ

優良企業… 「経済的要素」や「社会的要素」のだけでなく
従業員の「働きがい」や「誇り」「幸せ」が重要

WakuWaku経営

研究開発重視



三洋化成の概要



創立：1949（昭和24）年11月1日

本社：京都市東山区

資本金：13,051百万円

国内支社・営業所：東京、名古屋、広島、福岡

国内工場：名古屋、衣浦、鹿島、京都、川崎（サンケミカル）

従業員数：1,680名（連結）[2025年3月31日現在]

事業内容：約3,000種のパフォーマンス・ケミカルス（機能化学品）の製造・販売

三洋化成の沿革

創立前史

1907年 「合名会社多田石鹼油脂製造所」創設
石鹼や纖維処理剤を製造

創立

1943年 「三洋油脂株式会社」設立
三井物産（75%）と東洋（25%）出資

1949年 「三洋油脂工業株式会社」設立
初期の主要出資者：東洋綿花、東洋レーヨン等
(現：東レ)

1963年 「三洋化成工業株式会社」に社名変更

1968年 大証2部、京証に上場

1973年 東証2部に上場

1978年 東証1部、大証1部に上場

2022年 東証プライム市場へ移行

2025年 3,000種類に及ぶ多彩な製品を製造販売

現在



(写真) 多田石鹼

三洋化成の本社および研究所



本社・本社研究所（京都市東山区）



研究第2棟（同、東山区）



桂研究所（同、西京区）

国内生産拠点



京都工場・本社・研究所
(東山区、約2.6万m²)



鹿島工場
(茨城県神栖市、約13.0万m²)



名古屋工場
(愛知県東海市、約10.0万m²)



衣浦工場
(愛知県半田市、約14.0万m²)



サンケミカル 川崎工場
(神奈川県川崎市、約1.1万m²)

海外生産拠点



 Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.

 Sanyo Chemical Texas Industries, LLC

海外營業拠点



三洋化成(上海)貿易有限公司

San Nopco (Shanghai) Trading Co., Ltd.

DaXiang International Trading (Shanghai) Co., Ltd.



韓国三洋化成株式会社

San Nopco (Korea) Limited



Sanyo Chemical America Inc.



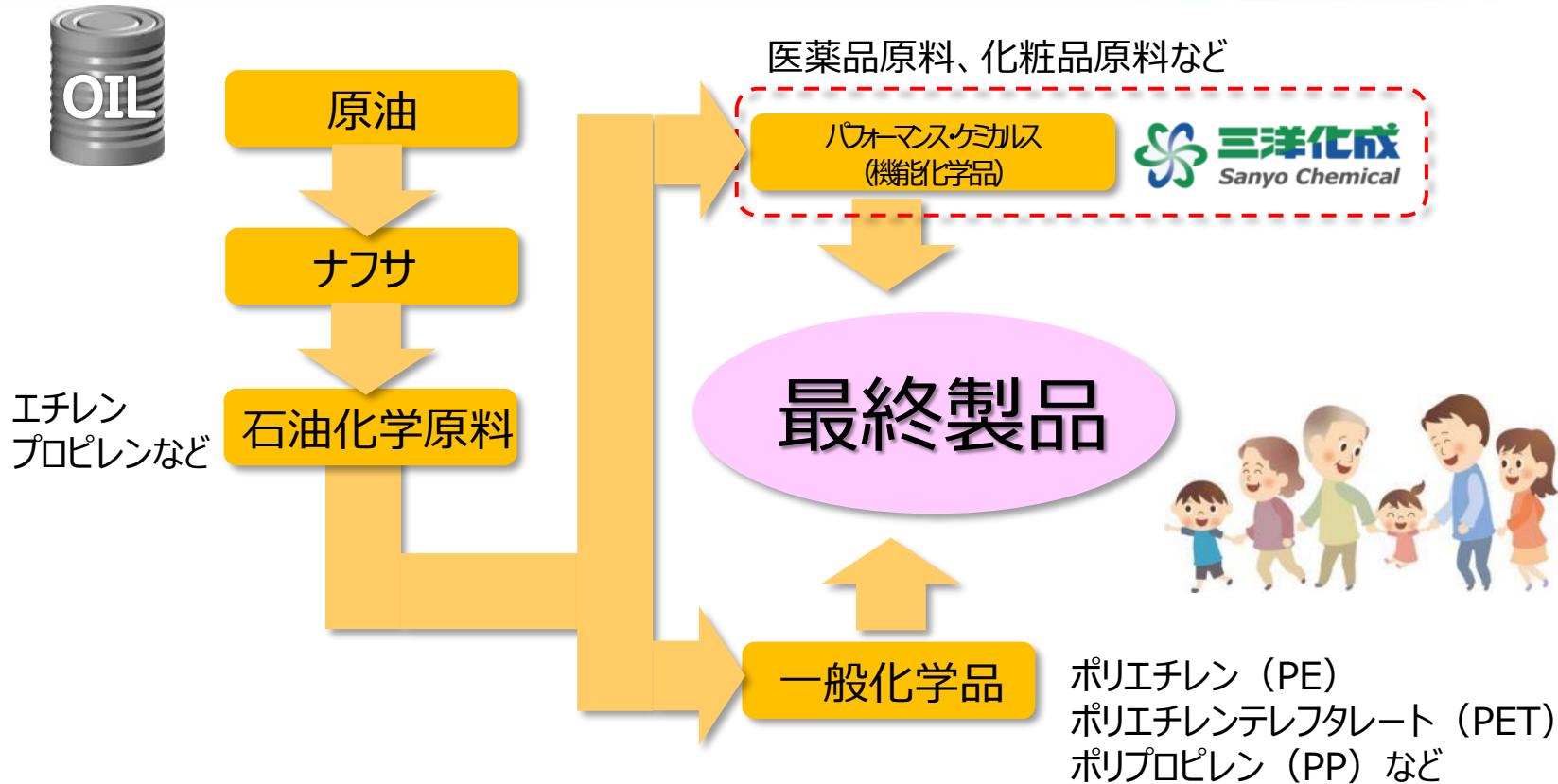
台灣三洋化成股份有限公司



Sanyo Kasei (Thailand) Ltd.



サプライチェーン内での位置づけ



三洋化成のパフォーマンス・ケミカルス

- 組成（何でできているか）ではなく、機能・性能（何ができるか）で利用される化学品
- 末端商品はなく、ユーザーでさらに加工される（B to B企業）
- 自動車、繊維、トイレタリー、電気・電子、樹脂など多くの産業で活躍
- 地球環境に配慮した製品開発



三洋化成のありたい姿(Vision)



全従業員が誇りをもち、働きがいを感じる
グローバルでユニークな高収益企業に成長する



「化学の力で化学の枠を越えてイノベーションを起こす」

社は「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」



Sanyoの貢献

実現したい社会

- ・環境と調和した循環型社会
- ・健康・安心にくらせる社会
- ・一人ひとりがかがやく社会

環境を支える

カーボンニュートラルへの貢献

人と暮らしを
支える

QOLの向上

多様性を支える

働きがいの向上

大切にすること
(Values)

- ・すべてのステークホルダーのワクワク
- ・環境・社会的価値と経済価値をステークホルダーと共に創*
・社員一人ひとりが価値の創出に貢献

*) 共創：全ステークホルダーと共に価値を築き上げていく

三洋化成のありたい姿(変革を支える活動)



- ・三洋化成グループの従業員一人ひとりが主役
- ・全員にスポットライトを当て、ワクワクする業務を推進

事業本部

- ・事業
パフォーマンスポリマー、
バイオ・メディカル、
機能材料、ファインケミカル
界面活性剤、ウレタン材料、
アグリ推進、フラボ推進、
- ・営業所（名古屋、広島、福岡）

コーポレート

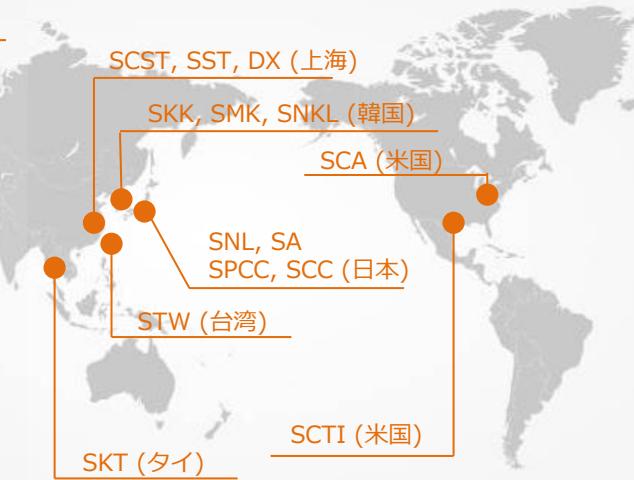
- ・人事、管理、経営企画、監査
デジタル開発、レスポンシブルケア

関係会社



生産・SCM関連

- ・生産、SCM、エンジニアリング
- ・工場（京都、名古屋、衣浦、鹿島）
- ・ものづくり大改革、生産設備改革



サステナビリティ基本方針

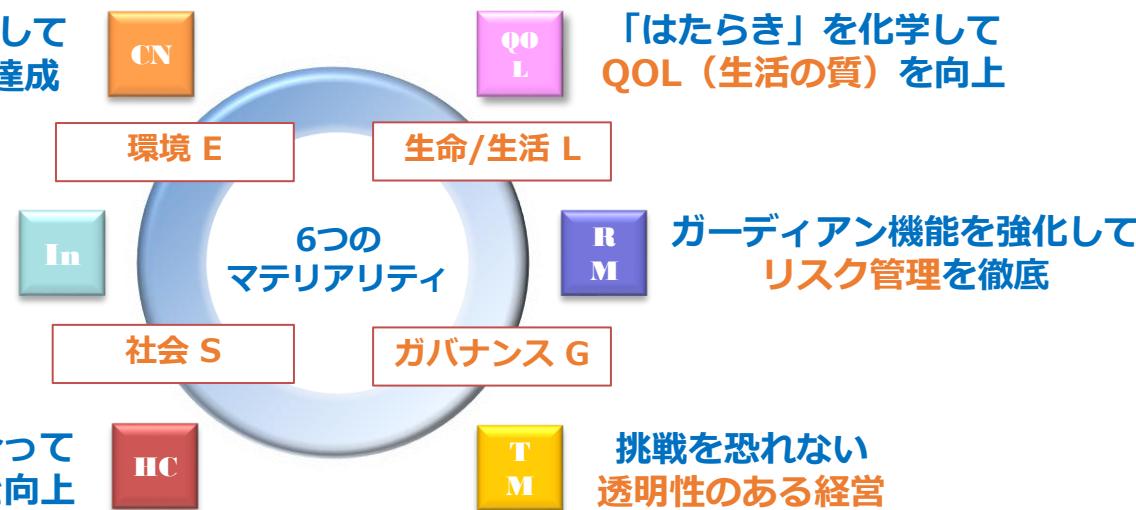
三洋化成グループは、創業以来大切にしてきた社是「企業を通じてよりよい社会を建設しよう」に基づいて、ステークホルダーと連携しながら、経済的価値と社会的価値を共に向上させて、将来にわたって持続的な成長を目指します

マテリアリティの特定

中長期での価値創造に大きな影響を及ぼす重要課題（マテリアリティ）

Interface Innovatorとして
カーボンニュートラルの達成

産業/文化/教育の価値創出を
下支えしてイノベーションを創出



ESG投資指数への組み入れ（2025年7月時点）



その他認定



経済産業省が定める
「DX認定事業者」
に選定（2024年）



健康経営優良法人
(2025年)



プラチナくるみん
2017年度取得



「PRIDE指標2024」
でGoldを受賞

2. 三洋化成の業績

2025年3月期業績



(億円, %)

連 結	'24年3月期	'25年3月期	前期比	
			増減額	増減率
売上高	1,595.1	1,422.5	▲172.5	▲10.8
営業利益	48.8	84.3	35.5	72.7
経常利益	81.8	96.7	14.8	18.1
親会社株主に帰属する当期純利益	▲85.0*	41.5*	126.5	—
包括利益	▲33.9	7.2	41.2	—

- 高吸水性樹脂事業からの撤退により減収となったが、利益面では高付加価値製品群の拡販や構造改革による収益性改善により増益。

* 構造改革費用としてFY2024に約120億円、FY2025に約12億円を計上

界面活性剤ビジネスは、三洋化成創業以来のコアビジネスの一つ。
シャンプー・リンス、液体洗剤用原料が中心。1978年に世界に先駆けて工業化した
高吸水性樹脂（SAP）は事業撤退。



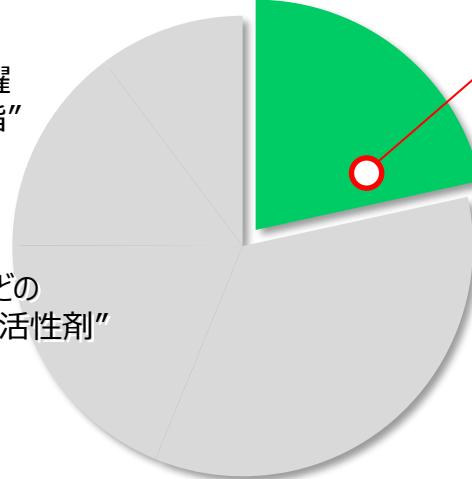
紙おむつで大活躍
“高吸水性樹脂”



化粧品で保湿などの
役割を担う“界面活性剤”



心臓外科手術を助ける
“外科用止血材”



生活・健康産業関連

連結売上高

306億円

連結営業利益

1.7億円

2025年3月期（2024年度）

うち、SAP事業の売上高:137億円
(営業利益は▲6.8億円)

自動車用途を中心とする本セグメントは、自動車シートの材料となるポリウレタンフォーム用原料をはじめ、自動車用潤滑油に使われる添加剤（粘度指数向上剤）、自動車内装表皮材用ウレタンビーズなどを販売しています。



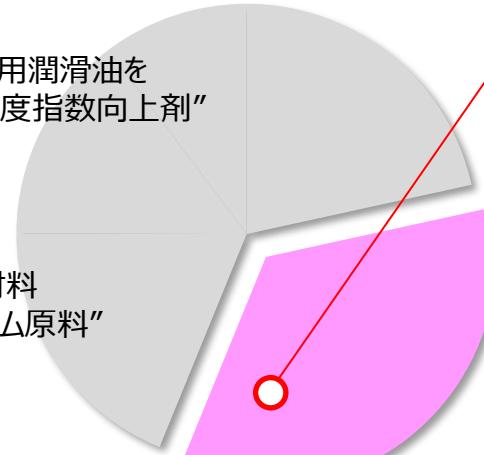
変速機やエンジン用潤滑油を
高性能化する“粘度指数向上剤”



自動車シートの材料
“ポリウレタンフォーム原料”



ダッシュボードなどの材料
“ウレタンビーズ”



石油・輸送機産業関連

連結売上高

492億円

連結営業利益

39.7億円

2025年3月期（2024年度）

身の回りで幅広く活躍するプラスチック製品に付加価値（機能）を付与する製品を数多く販売しています。半永久的に効果が持続する永久帯電防止剤や、繊維産業関連では、風力発電の風車などに使用される炭素繊維の製造用薬剤などを販売しています。



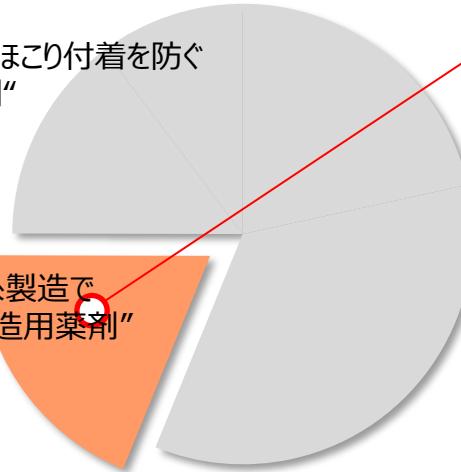
家電製品などへのほこり付着を防ぐ
“永久帯電防止剤”



シートベルトの原糸製造で
活躍する“繊維製造用薬剤”



風力発電の風車に使用される
炭素繊維の製造用薬剤“炭素繊維集束剤”



プラスチック・繊維産業関連

連結売上高

268億円

連結営業利益

28.6億円

2025年3月期（2024年度）

情報産業は、複写機やプリンターに使われる重合トナー用材料や、トナーバインダーなどを販売しています。電気電子産業関連製品では、自動車の電装部品や家電、パソコンなどに使用されるアルミ電解コンデンサ用電解液など幅広く取り扱っています。



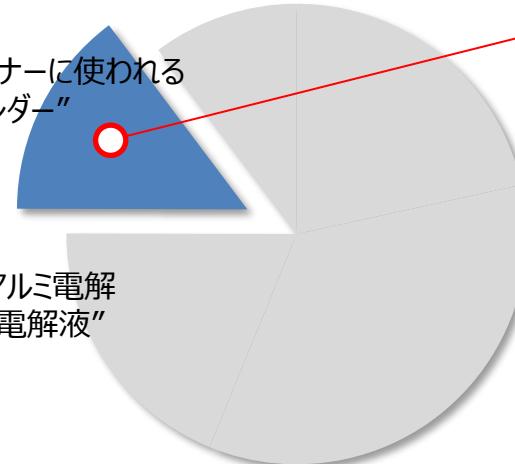
コピー機のトナーに使われる
“トナーバインダー”



蓄電素子“アルミ電解
コンデンサ用電解液”



ハードディスクや半導体の
製造時に使われる洗浄剤



情報・電気電子産業関連

連結売上高

209億円

連結営業利益

25.3億円

2025年3月期（2024年度）

環境産業関連製品では、産業廃水の汚濁物の沈降を促進させる高分子凝集剤用原料や、地中を掘削する際に使用する泥水用薬剤を販売しています。住設産業関連製品では、家具・断熱材などに使われるポリウレタンフォーム用原料などを販売しています。



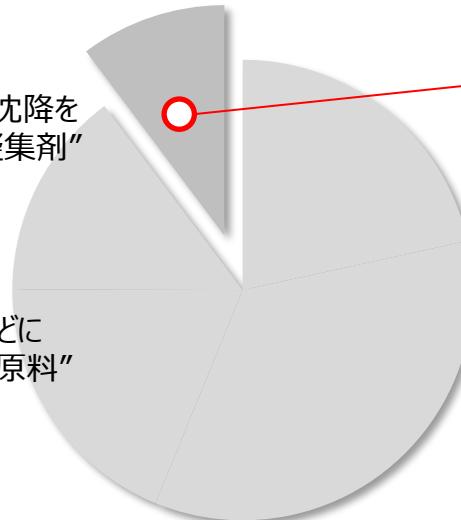
排水中の汚濁物の沈降を促進する“高分子凝集剤”



ソファーのクッションなどに“ポリウレタンフォーム原料”



住宅や冷蔵庫、冷凍庫に“ポリウレタン断熱材原料”



環境・住設産業関連他

連結売上高

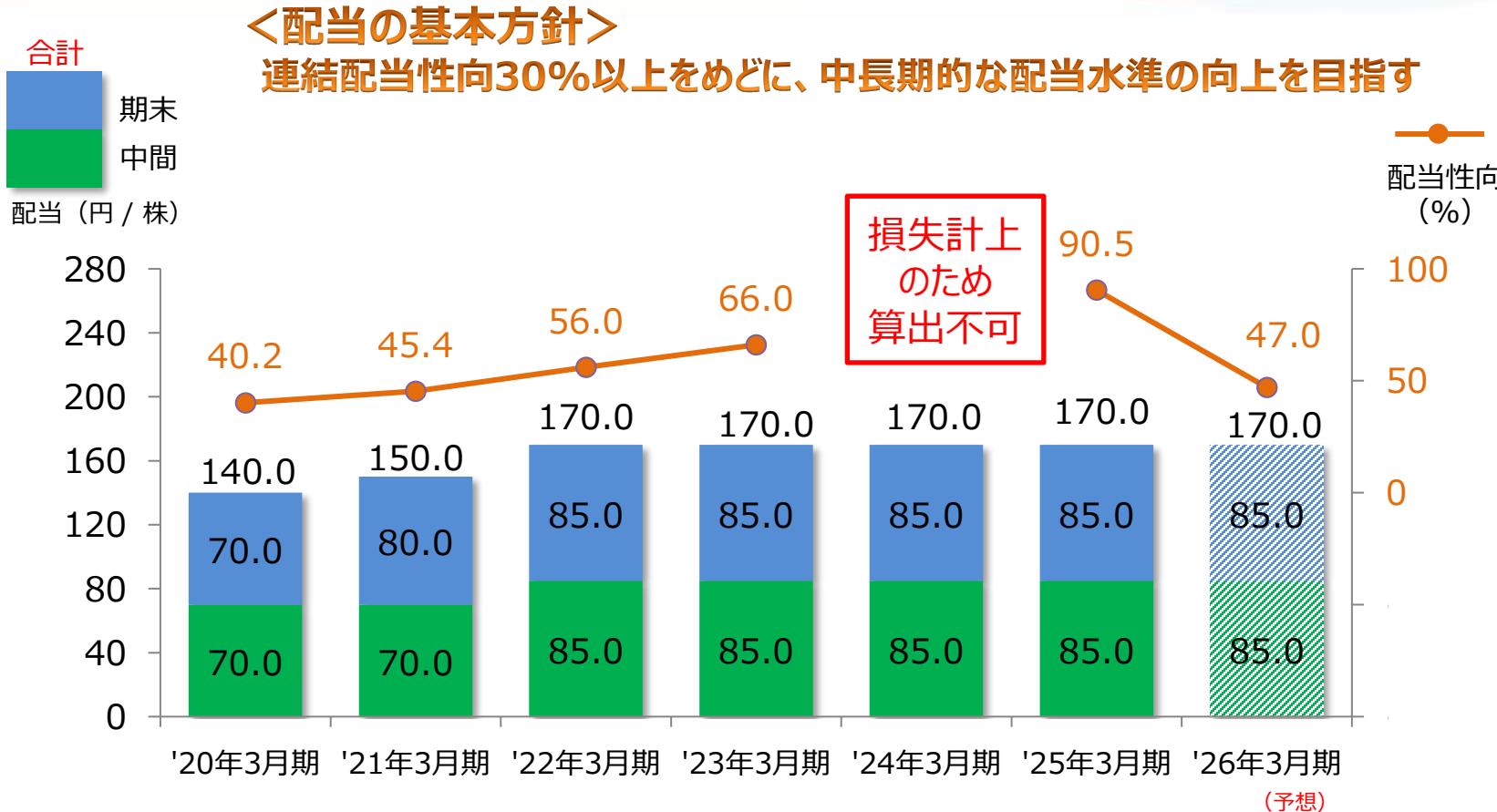
145億円

連結営業利益

0.0億円

2025年3月期（2024年度）

1株あたり配当と配当性向の推移(連結)



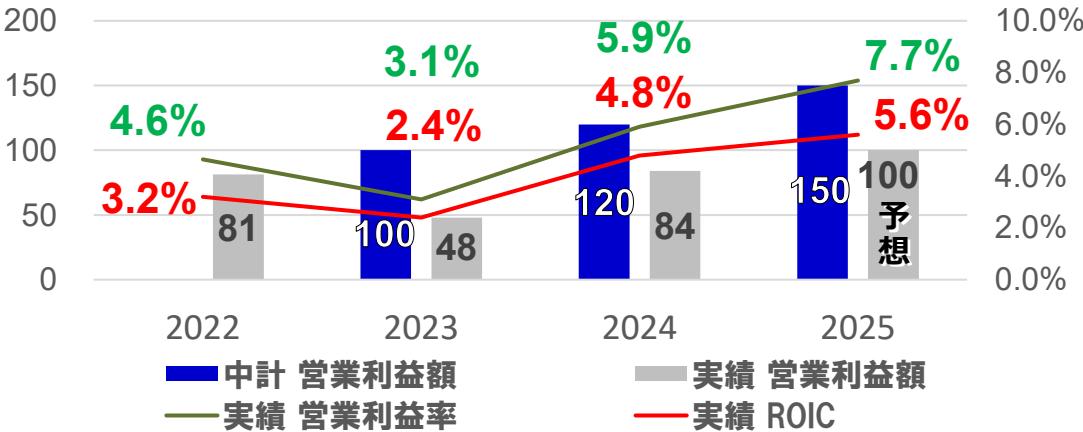
中計(2023~25年度の3カ年計画)の進捗

事業環境

- ・中国経済低迷の長期化
- ・中国での基礎化学品の増産による中国安価品の流入

- 厳しい事業環境下、2024年度は営業利益のV字回復を成し遂げた
- 営業利益150億円の達成は先延ばしせざるを得ない環境下にある

(億円) 営業利益額/率・ROICの推移 (2022~2025年度)



営業利益額

FY25中計目標 150億円 FY25予想 100億円

営業利益率

FY25中計目標 7.5% FY25予想 7.7%

ROIC

FY25中計目標 7.0% FY25予想 5.6%

3. 収益を支える 基盤事業

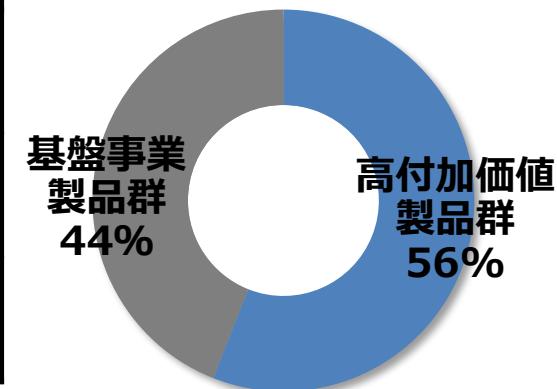
高付加価値製品群の実績(2024年度)



実績

	高付加価値製品群	基盤事業製品群
売上高(億円)	333	1,089
営業利益*(億円)	53	42
営業利益率(%)	15.9	3.8

営業利益の比率



* 新規事業に係る研究開発費 (▲11.2億円) を全社費用として計上。

潤滑油添加剤「アクループ」

駆動系潤滑油の役割

- ①潤滑
- ②摩耗防止
- ③焼き付き防止



1964年、初の国産化に成功

- ・三洋化成は国内シェア1位、海外でも2番手のシェア

粘度指数向上剤の役割と課題

役割

駆動系潤滑油に少量添加することで、
温度による**粘度変化**を小さく

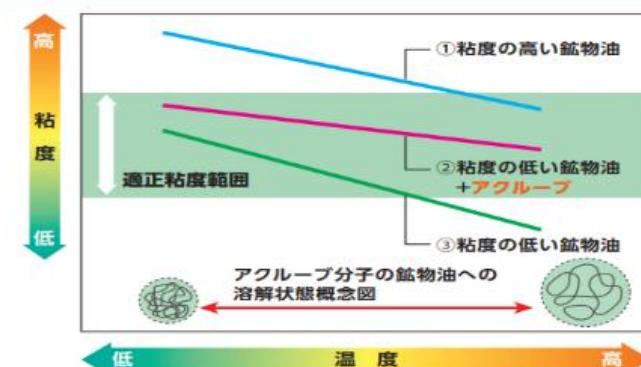
- 粘度が低くなると
潤滑性が低下し、摩耗や焼き付きの原因となる
- 粘度が高くなると
抵抗が増しエネルギー消費が大きくなる



課題

ギアの回転により駆動系潤滑油に高い負荷がかかる
⇒粘度指数向上剤には高い**耐久性**が求められる

アクループの作用機構

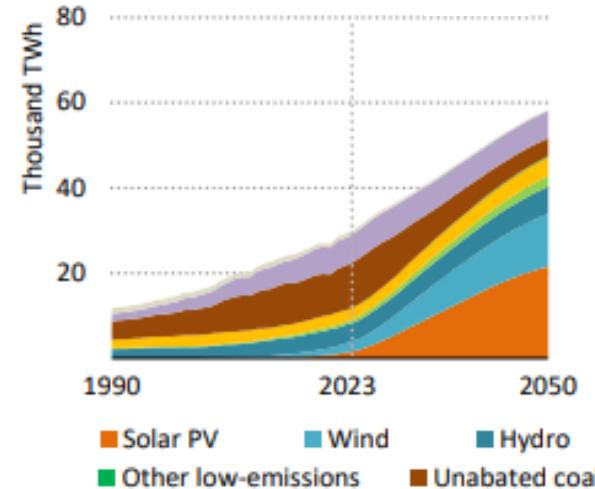
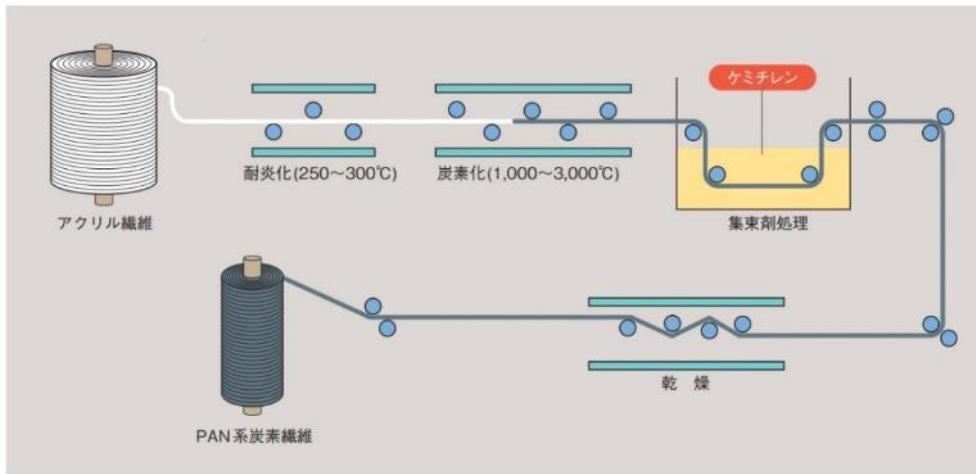


炭素繊維集束剤『ケミチレン』



炭素繊維製造工程で使用される。
近年、再生可能エネルギー需要の高まりから風力発電用に
炭素繊維は多く使用され、ケミチレンの需要も高まっている

風量発電の成長予測



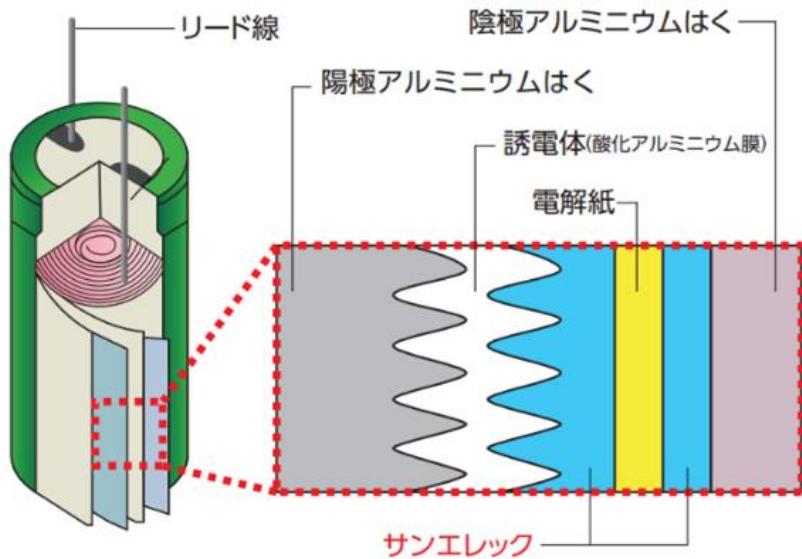
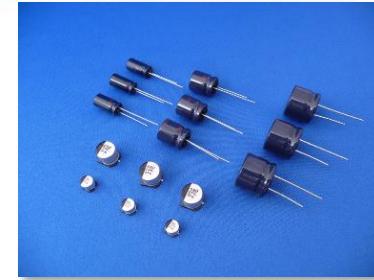
(出展) IEA/World Energy Outlook2024

アルミ電解コンデンサ用電解液『サンエレック』



独自開発したアミジン化合物を用いた電解液

- ・イオンの移動速度を保持、発生アルカリを中和し無害化。
- ・コンデンサ業界最大の課題であった液漏れを克服



アルミコンデンサの世界市場は右肩上がり

永久帯電防止剤『ペレスタット』『ペレクトロン』



電子機器・精密部品の包装・搬送材料用途での需要拡大
新たな用途展開
タイの関係会社サンヨーカセイ（タイランド）リミテッドでの新製造
設備を稼働
総投資額：34億円
生産能力：1,500トン/年
(日本、タイの合計生産能力は4,700トン/年)

サンヨーカセイ（タイランド）リミテッド
の新プラント

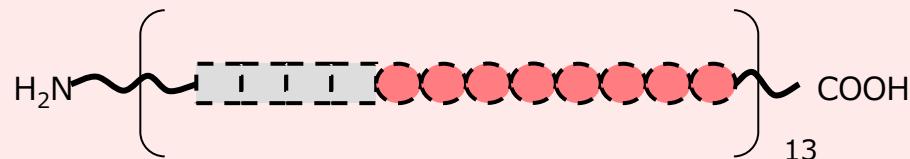


4. 将来の事業拡大を見据えた 新規事業

機能性タンパク質『シルクエラスチン[®]』



◇遺伝子組み換え技術により作製された人工たんぱく質
日本初、世界でも数少ない遺伝子組み換えタンパク質を利用した医療機器へ



■ シルクフィブロイン配列
(アミノ酸配列: G A G A G S)

● エラスチン配列
(アミノ酸配列: G V G V P)

シルクエラスチンの構造



シルクフィブロイン

保湿性や静菌性を有した
安全性の高い医療用材料

エラスチン

皮膚の弾性を発現させる
真皮の構成成分のひとつ

シリクエラスチン 開発の経緯



2009年に技術導入し、大腸菌產生菌株ならびに培養・精製の処方を得て、開発検討を開始

2009 '10 '13 '14 '16 '17 '18 '19 '20 '22 '24 '25

技術導入	●バイオベンチャーより 技術導入												
共同研究	●京都大学形成外科学講座 褥瘡（創傷）用途での共同研究開始 ●広島大学整形外科学講座 半月板再生用途での共同研究開始												
助成金 関係	（創傷）	●JST ASTEP ●AMED	●AMED	●AMED医工連携									
	（半月板）			●AMED	●AMED	●AMED医工連携							
事業化 フェーズ	（創傷）	医師主導 治験			企業治験	製造販売承認取得済 上市予定							
	（半月板）				医師主導 治験	企業治験							

創傷治癒用途

共同研究パートナー：京都大学大学院医学研究科形成外科

慢性創傷（糖尿病性足潰瘍等）や急性創傷（熱傷等）は、日本国内で120,000例以上あり、高齢化に伴い、難治化を含めて増加傾向

日本の糖尿病患者数：316万6,000人
糖尿病下腿潰瘍の有病率：1.5～10%（発生率：2.2～5.9%）

重症化（足切断）患者：1万人/年

（日本糖尿病学会ガイドライン2017）

京都大学附属病院…糖尿病患者数：1万2735人/年
(2015年 京都大学医療情報部調べ)

	シルクエラスチン	従来法①*1	従来法②*2
急性創傷	100%	60%	32%
慢性創傷	90%	34%	—

従来治療では治癒が期待できなかった傷に対して、急性創傷にて100%、慢性創傷において90%の治癒効果が得られた

医師主導治験・企業治験での良好な結果

創傷治癒力とハンドリング性の良さから競合と位置付ける
医療機器（NPWT、人工真皮）の置き換えを狙う

*1:局所陰圧閉鎖療法（NPWT）、*2:人工真皮

2024年9月末に科研製薬株式会社と、日本国内における独占的販売権に関するライセンス契約を締結。本年4月に製造販売承認を取得し、本年度内に保険償還と上市を目指す。



シルクエラスチン貼付前

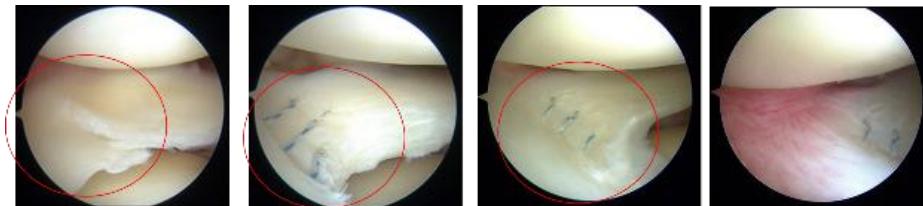
シルクエラスチン貼付14日後

半月板再生材用途

共同研究パートナー: 広島大学大学院医系科学研究科整形外科

＜医師主導治験結果＞

半月板損傷と判断された患者
8例に対して、術後3ヵ月後の
検査にて断裂部位の完全癒合を
半数以上確認



縫合前

縫合後

術後3ヵ月 (完全癒合)

症例	年齢	性別	関節鏡検査結果 (術後3ヵ月)	症例	年齢	性別	関節鏡検査結果 (術後3ヵ月)
症例1	20歳	女性	完全癒合 (100%)	症例5	17歳	男性	不完全癒合 (80%)
症例2	27歳	男性	完全癒合 (100%)	症例6	47歳	女性	完全癒合 (100%)
症例3	38歳	男性	完全癒合 (100%)	症例7	52歳	男性	完全癒合 (100%)
症例4	17歳	男性	不完全癒合 (80%)	症例8	21歳	男性	完全癒合 (100%)

治験責任医師(広島大学病院長/整形外科学 安達伸生教授コメント)

- ・驚異的な結果でありシルクエラスチンの効果が十分に確認できた
- ・サンプル不具合や特段の有害事象は認められず安心して使用できた

シルクエラスチンの市場性

日本初、世界でも数少ない遺伝子組み換えタンパク質を利用した医療機器へ

創傷治癒材用途

- 日本の糖尿病患者数：300万人以上
⇒重症化（足切断）患者：1万人/年

市場性

市場規模
国内90億円
米国900億円

半月板再生材用途

- 変形性膝関節症：3,000万人
(有症状者数：1,000万人)

市場規模
国内120億円
米国1,270億円

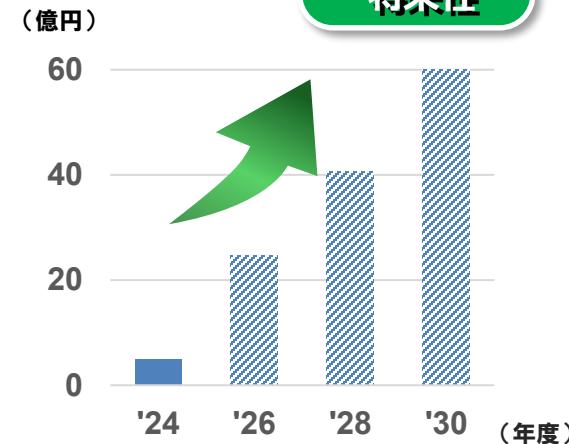
肺リーキ塞栓材用途

- 肺癌摘出術 対象患者：7万人／年

市場規模

国内14億円
米国250億円

将来性



用途	非臨床試験	医師主導治験	企業治験	薬事承認取得	保険償還申請
創傷治癒材用途					→
半月板再生材用途					→
肺リーキ塞栓材用途			→		

2030年には日米で
60億円の営業利益の
創出を目指す

遺伝子組換えタンパク質で細胞治療イノベーション シリクエラスチン・プラットフォーム (医療機器から再生医療・医薬品まで様々な工夫で広く評価中)



匂いセンサー「FlavoTone®」



フジツコ株式会社の品質検査用機器に採用
JR東日本の駅トイレの清掃効率化に向け、実証実験を開始



卓上機

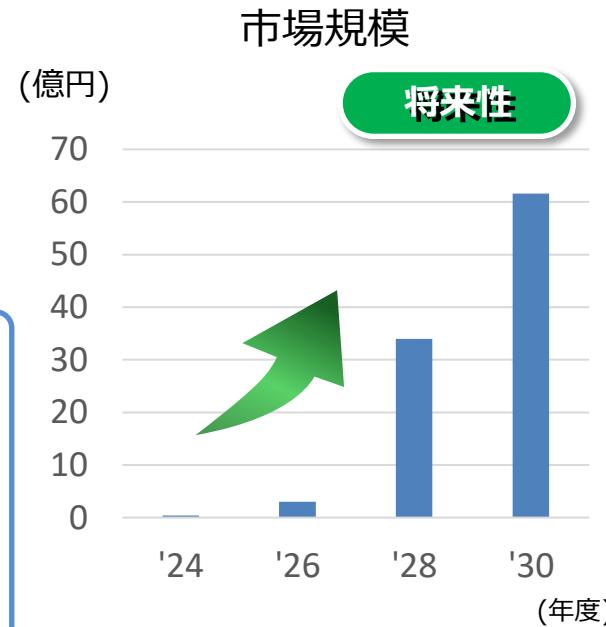


小型機

臭気識別の実証試験



遠隔からトイレの衛生状態をリアルタイムで把握し
少ない労力での高品質な清掃サービスの実現に貢献します





増加する世界人口と限られる農地
効率的な食糧生産が農業の未来を支える



「ペプチド農業」

ペプチド：環境にやさしく植物にとって
必要な成分で、高収量や機能性成分向上
など様々な効果が期待される！



宮崎県新富町と
連携協定を締結



新富町にて第1,2期圃場試験を完了
ペプチド投与による增收効果を確認
その他の効能についても検証中



アグリ/ペプチド農業～実証試験と開発～



葉の色が濃い（色素が多い）

色素は光の吸収やエネルギー変換の役割
＝きゅうりの成長や着果の促進効果が期待できる



化学の
ちからで
化学の枠を
越える。

化学のちからで
化学の枠を越えて
イノベーションを起こす

引き続きご支援のほどよろしくお願ひいたします。